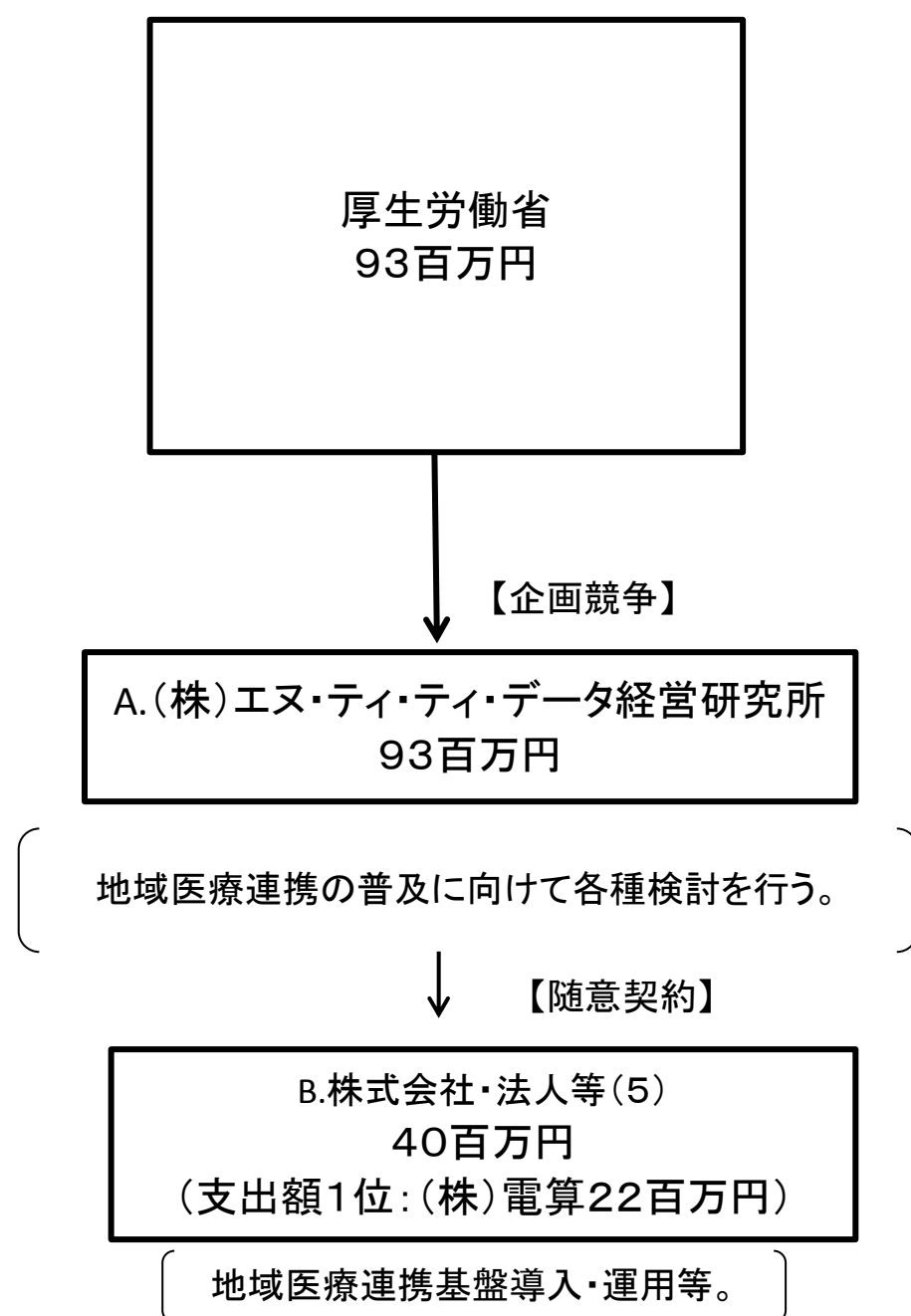


平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	シームレスな健康情報活用基盤実証事業			担当部局	医政局			作成責任者
事業開始年度	平成23年度	事業終了(予定)年度	平成26年度	担当課室	研究開発振興課 医療技術情報推進室			室長:片岡 穰
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-3-1 医療情報化の体制整備の普及を推進すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	平成18年1月:IT新改革戦略 平成19年3月:医療・健康・介護・福祉分野の情報化グランドデザイン 平成20年8月:重点計画2008 平成21年4月:デジタル新時代に向けた新たな戦略~三カ年緊急プラン~ 平成21年7月:i-japan戦略2015 平成22年5月:新たな情報通信技術戦略 平成25年6月:健康・医療戦略 平成25年6月:世界最先端IT国家創造宣言			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	電子化される健康情報の高度活用を図るため、医療・健診等におけるデータの相互利用をはじめとする情報共有のための方策や、個人の健康情報を有効に活用するための方策等の実証に取り組む。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	地域医療支援病院等を中心として病院から診療所、調剤薬局まで様々な施設間でのデータ共有を行い、患者情報を共有しながら病態に応じた各施設の役割を分担し、二次医療圏を超えた地域連携体制を構築する。また電子版疾病管理手帳の構築を行う。							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		当初予算	150	90	93	0		
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	150	90	93	0	0		
	執行額	148	90	93				
執行率(%)	99%	100%	100%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 26年度
	平成26年度に二次医療圏をまたいだ13の医療機関において医療情報連携を実施。	二次医療圏を超えて医療情報を共有する医療機関数	成果実績	機関数	-	-	30	
			目標値	機関数	-	-	13	13
			達成度	%	-	-	230.8%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	検討会等開催数	活動実績	回	15	7	5		
		当初見込み	回	4	4	4	-	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト=X/Y X:「予算額」 Y:「検討会開催数」	単位当たりコスト	円	9,982,200	12,884,714.3	18,554,000	-	
		計算式	X/Y		149,733,000/15	90,193,000/7	92,770,000/5	-
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
		-						
	計	0	0					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	「世界最先端IT国家創造宣言」等で実施が掲げられており、ニーズが高い事業であり、国費を投入する必要がある事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	標準的な情報提供形態等を検討するための実証事業であり、「世界最先端IT国家創造宣言」等においても国での実施が掲げられている。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	「世界最先端IT国家創造宣言」等で実施が掲げられており、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	企画競争入札を行い競争性の確保を図っている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	当該事業は実現可能性を確認する実証事業であり、一義的に益を受けるのは国となる。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	企画書審査委員会等において、コストについても削減に努めた。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	事業の実施に必要な支出を行うにあたり実情を勘案し支出を行っている。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	必要最小限の費用のみ予算要求している。	
	不用率大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	予算要求の際に更なるコスト削減や効率化が可能か検討した。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	同実証の目的である広域での情報連携のための標準規格案や、患者自身が検査データ等を登録・管理し閲覧できる仕組みをシステムに実装し実証した。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	他の手段・方法は困難。企画競争で調達を行うことにより予算内で最適な企画提案を採用している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	実証参加機関数は、当初見込み以上の機関を確保できた。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	他地域において同様の仕組みを構築する際に参考となるものであるため、成果物は公表する予定である。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	国際標準規格を踏まえた患者の同一性確認や、患者の医療情報を交換するための標準規格案を実装したシステムを構築しフィールド実証を行い、システムへ実装可能な標準規格案であることが検証された。また、患者自身が疾病を管理することを目的とし、疾病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症、CKD(慢性腎疾患))の状態を示す検査データ等を登録・管理し閲覧できる仕組みのフィールド実証を実施した。			
	改善の方向性	事業の目的が達成されたため、事業を廃止したものである。今後は当該事業の成果について普及を図る。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
【医療情報システムのための医療知識基盤データベース研究開発事業】 平成25～27年度 国庫債務負担行為					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	新23-0007	平成24年度	853
平成25年度	62	平成26年度	67		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	委託費	(株)電算等	39			
	人件費	職員賃金	33			
	消費税	消費税	7			
	通信運搬費	ネットワーク利用料	6			
	旅費	委員等旅費	4			
	借料及び損料	ネットワーク利用料等	3			
	その他	諸謝金、雑役務費等	1			
	計		93	計		0
	B.(株)電算			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	地域医療連携基盤導入・運用等	22			
	計		22	計		0
	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0	
D.			H.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所	地域医療連携の普及に向けて各種検討を行う(国庫債務負担行為)	93	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)電算	地域医療連携基盤導入・能登北部実証運用管理、広報活動他	22	随意契約	-
2	(株)テクノウェア	疾病管理手帳他開発	10	随意契約	-
3	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院	広報、能登中部実証運営管理	6	随意契約	-
4	メディカルインフォメーションガード(株)	運用管理規程等作成	1	随意契約	-
5	公益社団邦人日本医師会	HPKI認証基盤設定	0.3	随意契約	-